



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 荏原製作所

上場取引所 東

コード番号 6361 URL <http://www.ebara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 東一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 長木 健悟

TEL 03-3743-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	286,034	11.0	8,903	28.0	9,398	32.5	3,648	25.5
25年3月期第3四半期	257,601	△2.6	6,956	14.7	7,093	201.3	2,907	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 15,578百万円 (343.5%) 25年3月期第3四半期 3,512百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.86	7.07
25年3月期第3四半期	6.88	6.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	498,531	205,225	39.8
25年3月期	504,576	191,788	37.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 198,356百万円 25年3月期 186,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表いたしました「平成26年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	434,000	1.8	29,000	15.6	28,000	9.1	15,000	△2.0	32.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	465,160,829 株	25年3月期	465,118,658 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	862,101 株	25年3月期	703,461 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	464,326,256 株	25年3月期3Q	422,364,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成25年11月8日に公表した平成26年3月期の連結業績予想を修正しています。詳細については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《業績の全般的概況》

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、米国において景気は引き続き緩やかに回復しつつあり、ヨーロッパでも持ち直しの動きが見られます。アジアでは、一部に見られた景気の減速が下げ止まりを見せ、全体的に緩やかな拡大傾向が継続しています。国内では、公共部門の投資が堅調に推移するとともに、民間部門においても設備投資に加えて個人消費や住宅建設に持ち直しが見られ、景気は緩やかに回復しつつある状況です。

このような経済情勢のもと当社グループは、平成25年度を目標年度とする3カ年の中期経営計画「E-Plan2013」の最終年度として、①重点地域での“域産域消”を推進すると同時にグローバルな視点に基づく最適地生産及び製品供給体制を確立する、②中核事業の領域拡大により新市場への進出を図る、③科学的アプローチにより“ものづくり”プロセスの最適化を図る、④事業領域のグローバル化に即して本社機能を拡充する、という4つの基本方針のもと、より確実で安定した事業構造の確立に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間の受注高及び売上高は、全ての事業で前年同期を上回りました。営業利益は、精密・電子事業で減少したものの、風水力事業とエンジニアリング事業で改善したため、全体としては増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は2,860億34百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は89億3百万円（前年同期比28.0%増）、経常利益は93億98百万円（前年同期比32.5%増）、四半期純利益は36億48百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

《セグメント別の概況》

(風水力事業)

ポンプ事業では、海外において、石油・ガス市場における石油精製プラント案件、化学市場におけるシェールガス生産拡大等に伴う肥料プラント案件、電力市場における発電プラント案件の引合いが増加しており、受注が好調でした。国内においても、民間部門では建設投資が緩やかな回復基調にあり、公共部門では社会インフラの更新・補修に対する投資の伸びを受け、受注は好調に推移しました。

コンプレッサ・タービン事業では、エネルギー需要の増加やシェールガス生産拡大を背景に、中東、中国・インド等のアジア地域や北米での石油・ガス市場の案件が増加しており、好調に推移しました。

冷熱機械事業では、中国における需要の伸びは減速傾向にあるものの、受注は前期並みに推移しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は2,099億58百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント利益は52億36百万円（前年同期比110.3%増）となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業では、新規建設工事（EPC）や施設建設から運転管理・事業運営までを含めた事業型案件（DBO）に関しては、需要は前期よりもやや縮小しています。廃棄物処理施設の維持管理（O&M）においては、既存施設に対する大規模な改修、温暖化ガス排出抑制のための基幹的設備改良工事や長期包括運営契約などを含めてほぼ例年通りに推移しています。このような状況の中、基幹的設備改良工事の受注は堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は320億49百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は31億45百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

なお、カザフスタンにおけるアスタナ市上下水プロジェクトの引渡完了に伴う工事事務所閉鎖に向けた税務調査において、法人所得税等（39億テンゲ、邦貨約27億円、付帯税含む）の納付通知を受けました。当社は、当該プロジェクトは日本・カザフスタン両国で締結の開発援助契約に基づき免税との見解により異議申立てを行ってまいります。

(精密・電子事業)

精密・電子事業では、半導体市場において、パソコンやサーバに対する需要は依然として低迷していますが、スマートフォンやタブレット型等のモバイル端末に対する需要が市場全体を牽引しています。一方、フラットパネルディスプレイや太陽電池、LED等の市場は低調な状態が続いています。

このような状況の中、モバイル端末に対する好調な需要を受けたメモリーメーカーやファウンドリ等における半導体設備投資回復の動きに伴い、受注は回復してきました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は427億78百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は15百万円（前年同期比98.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、仕掛品が103億3百万円増加した一方、有価証券が165億96百万円、受取手形及び売掛金が151億56百万円それぞれ減少したことなどにより、前年度末に比べて60億45百万円減少し、4,985億31百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、社債100億円を発行したものの、1年内償還予定の新株予約権付社債200億円を償還したこと、長期借入金が72億80百万円減少したことなどにより、前年度末に比べて194億82百万円減少し、2,933億5百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、配当金を23億21百万円支払ったものの、四半期純利益を36億48百万円計上したほか、為替換算調整勘定が86億62百万円、少数株主持分が17億71百万円それぞれ増加したことなどにより、前年度末に比べて134億37百万円増加し、2,052億25百万円となりました。自己資本は1,983億56百万円で、自己資本比率は39.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績については、前回決算発表時(平成25年11月8日)以降の業績の動向等を踏まえ、売上高の予想を以下のとおり修正いたします。

また、平成26年3月期の期末配当金の予想を従来の2円50銭から5円に修正いたします。詳細については、本日発表の「平成26年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

《業績見通し》

()内は前期比増減

	連結業績	
売上高	4,340億円	(1.8%)
営業利益	290億円	(15.6%)
経常利益	280億円	(9.1%)
当期純利益	150億円	(△2.0%)

《事業のセグメント別業績見通し》

()内は構成比

事業区分	売上高		セグメント利益	
	金額	構成比	金額	構成比
風水力事業	3,200億円	(73.7%)	200億円	(69.0%)
エンジニアリング事業	500億円	(11.5%)	50億円	(17.2%)
精密・電子事業	620億円	(14.3%)	40億円	(13.8%)
その他	20億円	(0.5%)	0億円	(0.0%)
合計	4,340億円	(100%)	290億円	(100%)

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には以下の事項があります。また、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

1. 市場環境
2. 大型プロジェクト及び海外事業
3. 事業再編等
4. 為替リスク
5. 金利変動及び資金調達に関するリスク
6. 災害や社会インフラの障害発生にかかる影響
7. 繰延税金資産
8. 資材調達
9. 法的規制
10. 訴訟その他の紛争に関するリスク
11. 土地売却費用増加リスク
12. 輸出債権回収リスク

13. 退職給付債務

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	90,752	97,010
受取手形及び売掛金	157,459	142,303
有価証券	23,553	6,956
商品及び製品	9,948	10,557
仕掛品	37,881	48,184
原材料及び貯蔵品	19,118	21,581
その他	26,286	26,891
貸倒引当金	△1,701	△2,287
流動資産合計	363,298	351,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,528	38,092
機械装置及び運搬具(純額)	22,592	22,905
その他(純額)	30,602	34,671
有形固定資産合計	90,722	95,669
無形固定資産	6,889	7,236
投資その他の資産		
投資有価証券	23,195	25,264
その他	23,694	21,970
貸倒引当金	△3,224	△2,806
投資その他の資産合計	43,665	44,428
固定資産合計	141,277	147,333
資産合計	504,576	498,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,886	90,454
短期借入金	66,015	68,877
1年内償還予定の新株予約権付社債	20,000	—
賞与引当金	7,558	4,471
役員賞与引当金	257	213
完成工事保証損失引当金	3,169	2,947
製品保証引当金	2,768	3,133
工事損失引当金	5,585	6,272
土地売却費用引当金	1,846	1,843
その他	42,643	47,563
流動負債合計	245,730	225,778
固定負債		
社債	—	10,000
新株予約権付社債	20,000	19,997
長期借入金	31,338	24,057
退職給付引当金	9,629	7,600
役員退職慰労引当金	172	167
資産除去債務	1,825	1,844
その他	4,092	3,859
固定負債合計	67,057	67,526
負債合計	312,787	293,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	68,613	68,620
資本剰余金	72,543	72,550
利益剰余金	53,886	55,304
自己株式	△284	△379
株主資本合計	194,758	196,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,662	3,132
繰延ヘッジ損益	11	13
為替換算調整勘定	△9,547	△885
その他の包括利益累計額合計	△7,873	2,260
新株予約権	547	742
少数株主持分	4,356	6,127
純資産合計	191,788	205,225
負債純資産合計	504,576	498,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	257,601	286,034
売上原価	197,552	214,524
売上総利益	60,048	71,509
販売費及び一般管理費	53,092	62,606
営業利益	6,956	8,903
営業外収益		
受取利息	123	135
受取配当金	266	232
為替差益	562	1,455
貸倒引当金戻入額	520	—
その他	894	448
営業外収益合計	2,367	2,272
営業外費用		
支払利息	1,680	1,264
持分法による投資損失	234	237
その他	314	276
営業外費用合計	2,230	1,777
経常利益	7,093	9,398
特別利益		
固定資産売却益	26	65
投資有価証券売却益	0	25
事業譲渡益	1	—
その他	—	0
特別利益合計	27	91
特別損失		
固定資産売却損	169	18
固定資産廃棄損	51	88
減損損失	—	172
投資有価証券評価損	47	—
関係会社整理損	45	—
出資金評価損	246	—
会員権売却損	—	9
特別退職金	276	—
その他	15	0
特別損失合計	852	289
税金等調整前四半期純利益	6,268	9,200
法人税等	2,480	4,287
少数株主損益調整前四半期純利益	3,788	4,913
少数株主利益	880	1,265
四半期純利益	2,907	3,648

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,788	4,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△294	1,465
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	21	9,148
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	48
その他の包括利益合計	△275	10,664
四半期包括利益	3,512	15,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,583	13,782
少数株主に係る四半期包括利益	928	1,795

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,268	9,200
減価償却費	8,524	8,987
減損損失	—	172
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△2	△24
引当金の増減額(△は減少)	△7,219	△4,164
固定資産売却損益(△は益)	143	△46
受取利息及び受取配当金	△390	△368
支払利息	1,680	1,264
売上債権の増減額(△は増加)	37,325	19,596
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,899	△10,428
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,430	△7,182
その他	5,235	5,410
小計	20,235	22,415
利息及び配当金の受取額	707	625
利息の支払額	△1,511	△1,229
法人税等の支払額	△4,088	△5,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,343	16,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△7,288	△10,770
固定資産の売却による収入	36	100
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△5,527	△6,967
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3,111	23,785
定期預金の預入による支出	△603	△852
定期預金の払戻による収入	533	824
貸付けによる支出	△2,376	△1,633
貸付金の回収による収入	2,229	1,759
子会社出資金の取得による支出	△992	—
その他	309	321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,566	6,569

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,839	1,979
長期借入れによる収入	915	275
長期借入金の返済による支出	△14,788	△8,561
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得処分による収支	△3	△95
配当金の支払額	△3,167	△2,321
少数株主からの払込みによる収入	96	—
少数株主への配当金の支払額	△84	△105
その他	△598	△544
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,469	△19,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	2,670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,538	6,658
現金及び現金同等物の期首残高	87,294	93,792
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	14
現金及び現金同等物の四半期末残高	70,756	100,465

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	183,396	30,510	42,409	256,316	1,284	257,601	—	257,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	247	4	—	251	2,833	3,085	(3,085)	—
計	183,644	30,514	42,409	256,568	4,118	260,686	(3,085)	257,601
セグメント利益	2,490	2,846	1,042	6,379	485	6,864	91	6,956

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	209,958	32,049	42,778	284,786	1,247	286,034	—	286,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102	8	7	118	2,417	2,536	(2,536)	—
計	210,061	32,058	42,785	284,905	3,665	288,570	(2,536)	286,034
セグメント利益	5,236	3,145	15	8,397	449	8,846	56	8,903

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
風水力事業	207,517	252,192	297,999
エンジニアリング事業	43,162	95,900	66,631
精密・電子事業	41,070	46,314	62,212
報告セグメント計	291,751	394,407	426,842
その他	1,270	1,248	1,697
合計	293,021	395,655	428,540

② 販売の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
風水力事業	183,396	209,958	305,586
エンジニアリング事業	30,510	32,049	52,495
精密・電子事業	42,409	42,778	66,503
報告セグメント計	256,316	284,786	424,585
その他	1,284	1,247	1,716
合計	257,601	286,034	426,302

③ 受注残高の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (平成24年12月31日)	当第3四半期 (平成25年12月31日)	前連結会計年度 (平成25年3月31日)
風水力事業	176,097	203,937	153,827
エンジニアリング事業	102,608	169,364	104,144
精密・電子事業	10,791	12,251	8,292
報告セグメント計	289,496	385,554	266,265
その他	2	0	—
合計	289,499	385,554	266,265

(注) 上記①～③の金額はいずれも販売価格によっており、消費税等は含んでいません。また、セグメント間取引消去後の金額です。